

# 平成26年度事業報告書

公益財団法人日本チャリティ協会

## 目 次

I 障害者関係事業	1
1. 第 29 回東京都障害者総合美術展	1
2. 平成 26 年度東京都障害者休養ホーム事業	2
3. 第 33 回「障害者週間」記念の集い・ふれあいフェスティバル	3
4. 第 31 回障害者のためのふれあいコンサート	4
5. 平成 26 年度第 29 期障害者のカルチャースクール	4
6. パラアート事業	6
7. 視覚障害者のための「象牙彫刻掌鑑賞会」	7
8. 明治神宮奉納「第 73 回全日本力士選士権大会」	7
II 高齢者関係事業	8
1. 介護サービス情報の公表	8
2. 第 16 回クプナ・フラ・フェスティバル	8
3. 第 19 回シニアコーラス TOKYO フェスティバル	9
4. 第 45 回高齢者など福祉活動推進のためのチャリティショー	10
5. 高齢者のためのはつらつカラオケコンクール	11
6. その他の福祉関係事業	11
(1) ボランティアの組織化と活動	
(2) 他団体主催行事招待及び物品の贈呈	
III 東京都福祉サービス第三者評価事業	12
IV 共催・後援・協力事業	13
1. 障害者関係事業	13
(1) 第 42 回車椅子バスケットボール選手権大会	
(2) 第 48 回スポーツの集い	
2. 高齢者関係事業	14
(1) 第 51 回東京都老人クラブ芸能大会	
(2) 第 33 回福祉施設への美容師訪問ボランティア	
V 法人の運営	15
1. 理事会・評議会の開催	15
2. 後援会活動	16

## 平成26年度事業の実施内容

### I 障害者関係事業

#### 1. 第29回東京都障害者総合美術展

障害者が日頃から修練し積み重ね創作した作品の、審査・展示発表の機会を通じて、障害者が持つ芸術文化的能力を広く社会に披露すること及び障害者が持っている芸術文化の能力を基に、自立と健常者との交流など社会参加の促進を図ることを目的に開催した。

主 催:東京都

主 管:日本チャリティ協会

期 日:平成26年7月30日(水)～8月3日(日)(5日間開催)  
(審査会:7月28日(月) 場所:東京都庁)

時 間:午前10時～午後9まで(最終日は午後4時閉会)

場 所:西武池袋本店7階特設会場

内 容:募集:公募(都内在住の障害者)

募集内容:絵画・造形・書・写真

表彰:最優秀賞(東京都知事賞)1点、優秀賞2点、佳作5点、努力賞5点

努力賞5点、日本チャリティ協会会長賞、審査員特別賞 計20点

応募点数:絵画471点・造形103点・書91点・写真45点 計672点

(前年度 計718点)

入選展示数204点(前年度 201点)

審査員:山本貞、友永詔三、堀吉光、板見浩史、高木金次

表彰式:平成26年8月1日(金)9時40分 展示会場内

高円宮妃殿下

梶原 洋(東京都福祉保健局長)

佐々木 淳(西武池袋本副店長)

高木金次(日本チャリティ協会会長)

山本貞(審査員)

来場者:3,613名(前年度3,735名)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	7,150,000 円	東京都委託金収入 7,150,000 円
支 出 額	7,150,000 円	募集及展示等 6,100,700 円、事務費 1,047,860 円
収支差益	0 円	

## 2. 平成26年度東京都障害者休養ホーム事業

障害者及び介助者が家族や仲間とくつろぐため東京都が指定した保養所を利用し、日常生活からの解放感を満喫し、障害者及び介助者の豊かで生きがいのある生活づくりを目的に、東京都から委託を受け実施をした。

主 管:東京都

管 理:日本チャリティ協会

受託期間:平成26年4月～平成27年3月

利用対象:都内在住の障害者及び付添者

受託内容:休養ホーム利用申込、相談及び施設利用料助成金精算業務

年間利用者

区分		本年度	前年度
利用件数		2,992件	2,990件
利用者数		23,254名	22,517名
内 訳	身体障害	9,900名	10,069名
	知的障害	11,196名	10,232名
	精神障害	2,158名	2,216名

指定施設:○数字は都指定施設の数 合計36施設

北 海 道①	ピュア・フィールド風曜日
東 北 方 面 ②	湖畔のホテル・クオレ、かんぼの宿郡山
常磐・関越方面⑩	いこいの村涸沼、かんぼの宿大洗・塩原、冬桜の宿神泉、休暇村奥武蔵、ガストホフエール、栃木県障害者保養センター那珂川苑、まついだ森の家、湯沢ニューオータニホテル、ホテル・エフ、ニューグリーンピア津南
房 総 方 面 ③	かんぼの宿旭・勝浦・鴨川
中央線・信州方面⑧	かんぼの宿青梅・石和・諏訪、雅樹雅、富士レークホテル、山ぼうし、さゆ〜る、旅館はくら
伊豆・箱根方面⑤	すばる、箱根高原ホテル、熱川ハイツ、ひゅっかり、サニーステップ
東 海 方 面 ④	富士リゾート、かんぼの宿浜名湖三ヶ日・三ヶ根・知多美浜
関 西 方 面 ②	コミュニティ嵯峨野、神戸ポートピアホテル

## 決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	133,806,412 円	東京都委託金収入 133,806,412 円
支 出 額	133,806,412 円	施設利用料 120,945,652 円、振込手数料 266,760 円 事務費 12,594,000 円
収支差益	0 円	

### 3. 第34回「障害者週間」記念の集い・ふれあいフェスティバル

昭和56年に開催した「国際障害者年ふれあいフェスティバル」を契機に、障害者を取り巻く問題について、都民の理解と認識を深めてもらうことを目的に開催した。

主 催:東京都・日本チャリティ協会

後 援:厚生労働省・内閣府

期 日:平成26年12月3日(水)

時 間:午後1時～午後3時

場 所:東京都庁第一本庁舎5階大会議場

内 容:第一部記念式典

表彰:障害者福祉関係知事表彰

① 自立支援功労者 受賞者5名

② 自立生活者 受賞者4名

記念品贈呈:日本チャリティ協会

明日への主張～自分の気持ちを信じて～森 涼子

第二部ふれあいステージ

ふれあいショー

▶日本ろう者劇団(手話狂言)

▶白梅福祉作業所(沖縄民舞エイサー)

▶今井絵理子(ハートフルライブ)

司会/秋島由実

参加者: 484名

## 決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	4,500,000 円	東京都補助金収入 4,500,000 円
支 出 額	4,500,000 円	設営及出演料等 3,419,385 円、事務費 1,080,615 円
収支差益	0 円	

#### 4. 第31回障害者のためのふれあいコンサート

障害者やその家族などを対象に、オーケストラの演奏によるクラシック音楽等を鑑賞する機会を提供し、障害者の積極的な社会参加を図るとともに、豊かで生きがいのある暮らしづくりを目的に開催した。

主 催:東京都 日本チャリティ協会 東京都交響楽団

協 賛:(株)大塚商会

期 日:平成27年3月1日(日)

時 間:午後2時～午後4時

場 所:新宿文化センター大ホール

内 容:第一部 伊達佑介ピアノトリオ

第二部 管弦楽演奏 演奏/東京都交響楽団

指揮/藤岡幸夫

司会/加藤知華

招待者 :1,382名(前年度\_新宿文化センター大ホール:1,539名)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	2,075,000 円	東京都都補助金収入 1,975,000 円 企業協賛金100,000 円
支 出 額	2,075,000 円	設営及出演料等 1,736,373 円、事務費 338,627 円
収支差益	0 円	

#### 5. 平成26年度第29期障害者のカルチャースクール

障害者の自立と社会参加への支援及び障害者が持つ芸術文化に関する潜在的能力の開発を目的に、実技指導には各界の著名な作家を講師として招聘し実施した。

主 催:日本チャリティ協会

期 日:平成26年4月～平成27年3月(実技指導 年18回)

場 所:東京都障害者福祉会館

内 容:全4コース/マンガ・イラスト、一般絵画 A・B、書道、

コース	第 29 期	第 28 期	第 27 期
マンガ・イラスト	14名	18名	14名
一般絵画 A	18名	21名	25名
一般絵画 B	19名	20名	22名
書道	17名	20名	24名
合 計	68名	79名	85名

○開講式

期 日:平成26年4月6日(日)

時 間:午前10時30分～午前11時30分

場 所:東京都障害者福祉会館

内 容:主催者挨拶(日本チャリティ協会会長)

講師紹介及び委嘱状交付

講 師:横川永鷲、石渡鷲遊、白木ゆり、津田光郎、ウノカマキリ、堀吉光、板倉知恵、  
八木道夫、タナカミノル

○閉講式

期 日:平成27年3月1日(日)

時 間:午前10時30分～午前11時30分

場 所:エコギャラリー新宿

内 容:修了証・皆勤賞の授与

祝辞(日本チャリティ協会会長、各講師)

講 師:横川永鷲、石渡鷲遊、津田光郎、ウノカマキリ、堀吉光、板倉知恵、八木道夫、  
タナカミノル

修了証授与:

コース	第29期	第28期	第27期
マンガ・イラスト	13名	17名	14名
一般絵画 A	16名	18名	21名
一般絵画 B	18名	19名	17名
書道	14名	16名	19名
合 計	61名	70名	71名

皆勤賞授与:計15名(昨年19名)

○第28期作品展

カルチャースクールで創作された作品の講座終了後に行った作品展。

期 日:平成26年4月12日(土)～20日(日) 会期9日間

場 所:クリエイションギャラリー日本橋箱崎

内 容:各コース受講者の作品

マンガ・イラスト 21点、一般絵画A 19点、一般絵画B 21点、書道 33点、

来場数:270名(前回:290名)

○第29期作品展

カルチャースクールで創作された作品の講座終了後に行った作品展。

期 日:平成27年2月28日(土)～3月4日(水) 会期5日間

場 所:エコギャラリー新宿

内 容:各コース受講者の作品

マンガ・イラスト 12点、一般絵画A 15点、一般絵画B 14点、書道 14点  
 来場数:351名(前回:270名)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	2,428,122 円	事業受託収入(講座受講料) 2,416,250 円 雑収益(作品使用料)11,872 円
支 出 額	4,477,574 円	カルチャースクールの運営 4,129,200 円 作品展の開催 348,374 円
収支差益	△2,049,452 円	

6.パラアート事業

「パラアート」とは、「2009アジア・パラアートTOOKYO」展記念シンポジウムにおいて、障害を持つ作家たちが創作する芸術を象徴するものとして採択し、チャリティ協会が世に送り出した共通語である。昨年度は「2013アジア・パラアートTOOKYO」展等を盛大に開催した。本年度はこれまでの活動を踏まえ更なる「パラアート」の普及発展に努めた。

(1)「パラアート工房作品展示会2014」の開催

期 日:平成26年7月24日(木)～26日(土) 会期3日間

場 所:クリエイションギャラリー日本橋箱崎

内 容:障害者が描いた原画を素に、インテリア雑貨100点、生活用品等400点を展示するとともに、図録300部を作成し収録した。

来場数:800人

市場調査(アンケート):213人

(2)全国障害者芸術・文化祭への出展参加

鳥取県と厚生労働省が主催する第14回全国障害者芸術・文化祭とっとり大会展示会場に設けられた「パラアート」コーナーに出展参加した。なお、本事業は第10回徳島大会から継続して出展参加している。

期 日:平成26年9月5日(金)～21日(日) 会期17日間

場 所:鳥取市歴史博物館「やまびこ館」特別展示室

内 容:「2014パラアートとっとり展」出展各品50点(海外30点、国内20点)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	3,925,000 円	寄附金 3,530,000 円、企業協賛金収入 100,000 円 雑収益(とっとり大会作品搬送等) 395,000 円
支 出 額	4,264,792 円	パラアート工房展の開催 1,586,840 円 パラアートの普及(とっとり大会等) 2,677,952 円
収支差益	△339,792 円	



## 7. 視覚障害者のための「象牙彫刻掌鑑賞会」

視覚障害者に、象牙が変化する加工工程を江戸文化が凝縮する根付等を用いて、触感体験をさせたいとの主催者の意向を受け取り組んだ協力事業。

主 催:「第37回日本の象牙彫刻展」組織委員会 日本象牙彫刻会

協 力:日本チャリティ協会(第20回記念展／平成14年から協力を開始)

期 日:平成26年10月18日(土) 全体10月16日(木)～10月22日(水)

時 間:午後2時～午後3時

場 所:日本橋高島屋8階ホール

内 容:象牙から根付等へ変化する制作工程の講座と触感芸術体験

参加者:16名(付添者含)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	0円	
支 出 額	31,150円	旅費等事務費 31,150円
収支差益	△31,150円	

## 8. 明治神宮奉納「第72回全日本力士選士権大会」

相撲力士の取組を観戦する機会に恵まれない障害者を招き、伝統と技の世界を体験させたいとの主催者の意向を受け開始した協力事業。

主 催: 明治神宮

協 力: 日本相撲協会、日本チャリティ協会(昭和56年から協力を開始)

期 日: 平成26年10月7日(月)

時 間: 正午～午後4時

場 所: 両国国技館

招待者: 障害者(児)と家族1,400名を招待

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	0円	
支 出 額	90,282円	旅費、保険料、ボランティアへの謝金等
収支差益	△90,282円	

## II 高齢者関係事業

### 1. 介護サービス情報の公表

介護サービス情報調査は、介護保険法に基づく都道府県の自治事務で、介護サービス事業者のサービスの内容や運営状況を調査した客観情報をインターネット等により公表する制度。本協会は、都の指定調査機関としてサービス提供事業者に対する調査を行った。

調査員: 調査従事調査員7名(登録調査員18名)

調査期間: 平成26年8月～平成27年3月

調査件数: 125件(調査員平均調査件数17.9件)

介護サービス区分	本年度	前年度
訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハビリテーション	39件	32件
通所介護・通所リハビリテーション	33件	27件
特定施設入居者生活介護(有料・軽費・高齢者向け住宅)	3件	5件
福祉用具貸与	6件	6件
小規模多機能型居宅介護	1件	1件
認知症対応型共同生活介護	0件	1件
居宅介護支援	32件	32件
介護老人福祉施設・短期入所生活介護	8件	1件
介護老人保健施設・短期入所療養介護	3件	1件
計	125件	106件

### 決算の状況

区分	決算額	説明
収入額	2,140,000円	事業受託収入(調査委託費)2,140,000円
支出額	1,682,207円	調査費 884,353円、事務費 797,854円
収支差益	457,793円	

### 2. 第16回クプナ・フラ・フェスティバル

中高年者グループによるフラダンスの質の高い発表の場として、また、中高年者の文化活動の促進及び親睦並びに健康維持増進等を促進させ明るく元気な高齢社会づくりに寄与することを目的に開催した。

主 催: クプナ・フラ・フェスティバル運営委員会

共 催: 日本チャリティ協会、テレビ朝日福祉文化事業団

後 援: ハワイ州、ハワイ州観光局、東京都、全国老人クラブ連合会、東京都老人クラブ連合会、

協 賛: 日本ハワイアン音楽協会、Hawaiian Fan

協 力: HULA Le`s

企画制作:(株)公共事業PRセンター

期 日:平成26年6月27日(金) 午後5時から午後8時30分  
平成26年6月28日(土) 午後3時から午後8時

場 所:中野サンプラザホール

出 演 者:全国フラグループ 19組 400名  
フラグループにハワイ州知事より感謝状が交付贈呈

特別出演:コディ・プエオ・パタ、マリア・アン・ピーターセン

来 場 数:2,520名(2日間)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	13,310,400 円	企業協賛金収入 500,000 円 主催事業収入(参加料等)12,810,400 円
支 出 額	10,196,251 円	制作費及会場費等 9,198,692 円 事務費 997,559 円
収支差益	3,114,149 円	

### 3.第19回シニアコーラス・TOKYO・フェスティバル

高齢者が日頃積み重ねたコーラス活動の成果を競うとともに、参加者相互の理解と親睦を深め、高齢者の生きがいと積極的な社会参加を促すとともに、高齢者のより豊かで充実した文化生活在るなど、高齢者福祉の増進を図ることを目的に開催したシニアコーラスコンクール。

主 催:日本チャリティ協会 東京都老人クラブ連合会

後 援:厚生労働省 文部科学省 東京都 全国老人クラブ連合会

協 賛:都民共済

協 力:東京都合唱連盟

企画制作:(株)公共事業PRセンター

期 日:平成27年3月6日(金)

時 間:午前10時～午後4時

場 所:なかのZERO大ホール

参 加:24組668名

審 査 員:小森昭宏、安田祥子、宇佐美瑠璃、岸信介

来 場 数:1,337名

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	5,881,340 円	企業協賛収入 4,240,000 円 主催事業収入(参加料等)1,641,340 円
支 出 額	5,431,784 円	制作費及会場費等 5,431,784 円
収支差益	449,556 円	

4.第45回高齢者など福祉活動推進のためのチャリティショー

～「永遠のスクリーンミュージック Part18」～

高齢者が過ごした時代に身近に流れた音楽を、同時代を生き抜いた歌手と現代を代表する歌手などで再現する福祉活動推進のためのチャリティショー。高齢者等の福祉への貢献及び音楽界の活性化と芸能文化の発展にも寄与することを目的に開催した。

主 催:日本チャリティ協会 永遠のスクリーンミュージック運営委員会

後 援:東京都

企画制作:(株)公共事業PRセンター

期 日:平成26年9月19日(金)

時 間:午後5時30分～午後8時40分

場 所:中野サンプラザホール

幹事団体:合掌苑、芙蓉会、東京蒼生会、東京都盲人福祉協会、東京都知的障害者育成会、東京都肢体不自由児者父母の会

出 演 者:ペギー葉山、菅原洋一、マーサ三宅、雪村いづみ、鈴木ヤスシ、マリーン&吉田次郎、モト冬樹、前田はるみ、千月啓子タップダンススタジオ、大橋美加、広瀬としえ、竹山京李、島津とも子、大橋恵子、花田玲子、小林麗子、三森万輝

来 場 者:1,435名

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	9,477,300 円	主催事業収入 9,032,760 円 寄附金収入 444,540 円
支 出 額	8,308,389 円	制作費及会場費等 6,427,934 円 幹事会の運営及び事務費 1,880,455 円
収支差益	1,168,911 円	

## 5. 高齢者のためのはつらつカラオケコンクール

高齢者が日頃から積み重ねた歌自慢の成果を競うとともに、参加者相互の理解と親睦を深め、生きがいと積極的な社会参加を促し、豊かで充実した文化生活を送ることのできる高齢者福祉の増進を図ることを目的に開催した。

主 催: 日本チャリティ協会

後 援: 東京都老人クラブ連合会他

企画制作: (株) 公共事業PRセンター

### ○第158回大田区大会

期 日: 平成26年10月22日(水)

場 所: 大田区民ホールアプリコ大ホール

審査員: 永田文夫、満留紀弘、大田区老人クラブ連合会会長

出場者: 51名

参加者: 1,000名

アトラクション: 安部里葎子

### ○第157回世田谷区大会

期 日: 平成26年10月17日(金)

場 所: 玉川区民会館ホール

審査員: 瀬川昌久、森淑、世田谷区高齢者クラブ連合会会長

出場者: 56名

参加者: 500名

アトラクション: 秋吉真実、五条哲也

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	1,600,000 円	事業受託収入 1,000,000 円 寄付金収入 600,000 円
支 出 額	1,524,234 円	業務委託費 1,000,000 円、事務費 524,234 円
収支差益	75,766 円	

## 6. その他の福祉関係事業

### (1) ボランティアの組織化と活動(年間事業)

ボランティアは、本協会が事業を推進していく上において欠かせない存在であり、ボランティアの効率的な活動を行うために組織を強化し、目的別ボランティアの育成組織化に取り組んだ。

主な分類: 協会のイベント参加者並びに企業OB、目的別シニアボランティアクラブ、自

薦の中高年女性

参加事業:障害者総合美術展、高齢者など福祉活動推進のためのチャリティショー、ふれあいコンサート、シニアコーラスフェスティバル、クプナ・フラ・フェスティバル、アンケート調査などにおける発送・梱包、受付、会場整理、ビデオ撮影、写真撮影、パソコン入力

参加人数:ボランティア参加延べ人数

イベント/196名(内カメラ・ビデオボランティア15名)

## (2)他団体主催行事招待及び物品の贈呈

協会の理念や目的の共有を図ることを目的に、他団体から寄せられた行事や催し物招待及び物品をボランティア等に贈呈し、その行事等に参加し受けた事柄を、本協会行事に反映をさせた。

催事の種類:音楽・芸能・スポーツ他

贈呈先:ボランティアの他、福祉作業所・障害者団体・東京都老人クラブ連合会等にも贈呈した。

贈呈点数:1,764点(昨年度 1,710点)

贈呈金額(換算):9,484千円相当(昨年度 10,300千円相当)

## Ⅲ 福祉サービス向上のための収益事業(東京都福祉サービス第三者評価)

障害者及び高齢者施設の事業所が、東京都福祉サービス第三者評価の受審を通して、福祉サービスの質の向上及び運営上の課題解決に資することを目的に実施した。

評価実施件数:36件(前年度38件)

《福祉サービス分野別内訳》

高齢者福祉サービス分野	5件
障害者(児)サービス分野	22件
児童・生活保護等のサービス分野	4件
準評価及び利用者調査等	5件

評価従事評価者数:30名(協会登録:主たる評価者11名、従たる評価者19名)

1人当たりの平均評価件数:1.2件

決算の状況

区分	決算額	説明
収入額	17,146,441円	事業受託収入(評価受託料)17,146,441円
支出額	14,981,992円	評価関係費8,582,499円、事務費6,399,493円
収支差益	2,164,449円	

#### IV 共催・後援・協力事業

##### 1 障害者関係事業

###### (1) 第42回車椅子バスケットボール選手権大会

障害者のスポーツを通じた体力の維持管理及び機能回復等の向上と、自立更生の充実を目的に開催する行事への協力を行った。

主 催: 日本身体障害者スポーツ協会、日本車椅子バスケットボール連盟

後 援: 厚生労働省、文部科学省、東京都、日本チャリティ協会他

期 日: 平成26年5月17日(土)18日(日)

場 所: 東京体育館

参 加: 全国より予選勝ち抜きの16チーム

内 容: 敢闘賞の贈呈(財団法人日本チャリティ協会会長賞)

決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	0 円	
支 出 額	88,221 円	旅費等事務費 88,221 円
収支差益	△88,221 円	

###### (2) 第48回スポーツの集い

在宅及び施設等を利用している重度の知的障害者(児)とその家族や関係者を対象に、スポーツに触れる機会を提供することを目的に開催される「スポーツの集い」が、さらに社会の多くの人々に障害者に対する理解が深まるようなアトラクションの企画運営に協力した。

主 催: 東京都障害者スポーツ協会、東京都、NHK厚生文化事業団

協 力: 日本チャリティ協会

期 日: 平成26年9月3日(水)

時 間: 午前10時～午後3時30分

場 所: 東京体育館メインアリーナ

内 容: アトラクションのプロデュース

出演者: 拓殖大学麗澤会総務局吹奏楽部

伊達佑介トリオ

司会/新宮隆子

参加者: 1,320名

## 決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	918,000 円	事業受託収入 918,000 円
支 出 額	600,966 円	出演料等制作費 512,172 円、 旅費等事務費 88,794 円
収支差益	317,034 円	

## 2高齢者関係事業

### (1) 第51回東京都老人クラブ芸能大会

各地区老人クラブ(区市町村単位)が健康増進及び会員相互の交流と親睦のために取り組んでいる民謡(新舞踊、フラダンス等の民族舞踊を含む)の祭典の運営に関する助言と審査員の派遣協力を行った。

主 催: 東京都老人クラブ連合会

後 援: 厚生労働省、東京都、日本チャリティ協会他

期 日: 平成26年9月11日(木)

時 間: 午前10時～午後4時

場 所: 新宿文化センター大ホール

内 容: 老人クラブ民謡舞踊コンクール運営ならびに観客動員

審査員: 新倉武、春日宏美、落合弘

参加者: 1,200名(出場者37組292名)

### 決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	108,000 円	事業受託収入 108,000 円
支 出 額	198,751 円	出演料等 109,999 円、旅費等事務費 88,752 円
収支差益	△90,751 円	

### (2) 第33回福祉施設への美容師訪問ボランティア

都内の有志美容師及び山野学苑在学生在が施設を訪問し整髪とメイクアップを施す奉仕活動を一緒に行った。

主 催: 日本チャリティ協会 学校法人山野学苑

期 日: 平成26年7月30日(火)を中心

時 間: 午後2時～午後4時

場 所: 都内の福祉施設12ヶ所

参加者: 奉仕者53名

内 容: ヘアカットとメイクアップ(ヘアカット利用者68名、メイクアップ利用者93名)



## V 法人の運営

### 1 理事会・評議員会の開催

#### (1) 理事会の開催

##### ①平成26年第2回理事会

期 日:平成26年5月30日(金)

場 所:スクワール麴町

内 容:

ア.平成25年度事業報告について

イ.平成25年度決算報告について

ウ.その他

##### ②平成27年第1回理事会

期 日:平成27年3月27日(金)

場 所:スクワール麴町

内 容:

ア.平成27年度事業計画について

イ.平成27年度収支予算について

#### (2) 評議員会の開催

##### ①定時評議員会

期 日:平成26年6月20日(金)

場 所:スクワール麴町

内 容:平成25年度決算の承認について

#### (3) 監事監査の実施

期 日:平成26年5月16日(金)

場 所:チャリティ協会事務局

内 容:平成25年度決算審査について

#### (4) 賛助会員 81名(平成27年3月31日現在数)

#### 決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	4,620,523 円	基本財産運用収入 468 円、会費収入 340,000 円 寄附金 4,280,000 円、受取利息 55 円
支 出 額	5,020,462 円	役員会 486,746 円、管理事務費 4,533,716 円
収支差益	△399,939 円	

## 2 後援会活動(通年活動)

### (1)「クォーターニュース」の発行 各号2,000部

区分	2014-Vol.95	2014-Vol.96	2014-Vol.97
巻頭言	—————	—————	会長新年挨拶
報 告	第30回ふれあいコンサート、第18回シニアコーラス・TOKYO フェスティバル、第16回クプナ・フラ・フェスティバル、第29期カルチャースクール開校式及び第28期作品展	第29回東京都障害者総合美術展、「パラアート工房」作品展示会2014、第45回永遠のスクリーンミュージック	第34回ふれあいフェスティバル、第73回全日本力士選士権大会、高齢者のはつらつカラオケコンクール
特 集	平成26年度日本チャリティ協会事業計画	「2014パラアート」とっとり展	ボランティアの紹介

### (2)後援会会員 245名(平成27年3月31日現在数)

#### 決算の状況

区 分	決 算 額	説 明
収 入 額	1,465,000 円	会費収入 347,000 円、事業受託収入 118,000 円 寄附金 1,000,000 円
支 出 額	2,109,777 円	ニュースの発行 3 回 486,000 円 運営事務費 1,623,777 円
収支差益	△644,777 円	